



ふくやま未来づくりビジョン
2020

～活力と魅力に満ちた輝く都市の実現へ～

はじめに

私はこれまで、活力と魅力に満ちた輝く都市の実現に向け、市民の皆様の声に耳を傾けながら、5つの挑戦を推進して参りました。その中で、福山駅前再生や福山北産業団地の整備といった都市基盤の強化を始め、子どもの医療費助成制度の拡充や小中学校の空調設備整備など、未来を担う子どもたちへの投資にも取り組んできました。また、福山城築城400年記念事業やばらのまち福山国際音楽祭の開催など、都市づくりに新たな風を吹き込んで参りました。

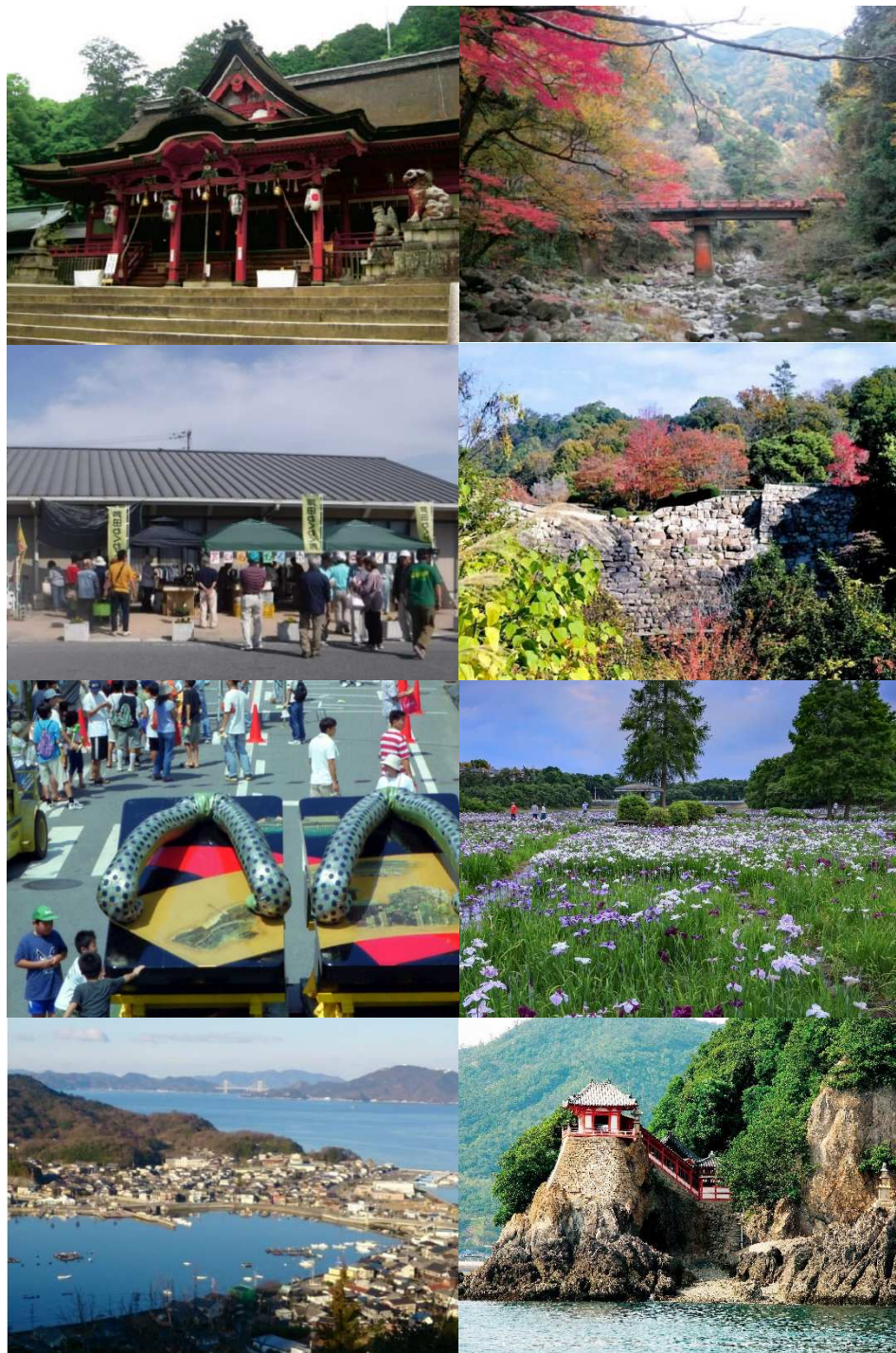
今年度からは、時代の激しい変化に的確に対応するため、その取組を深化させ、「頻発する自然災害への備え」「本格化する人口減少への備え」「備後の拠点都市としての備え」に注力しており、これまでにまいてきた種が、今、芽を出しつつあります。

新年度は、この3つの備えを更に充実させて参ります。課題を先送りすることなく、少子高齢化の更なる進行や、Society5.0によるデジタル社会の到来などを見据えた、新たな時代にふさわしい福山をデザインし、積極果敢に挑戦していきます。

こうした取組を、タイミングを逸することなくスピード感を持って実行していくためには、持続可能な財政の確立が不可欠です。そのため、歳入・歳出の両面からなる総合的な財源確保策にも本格的に取り組めます。

引き続き、「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に据え、現場主義を貫く中で、備後の中核都市として輝きを放っていただけるよう全力で取り組んで参ります。

福山市長 枝広 直幹



中期戦略に立った都市機能の更なる強化

～2019年度

ふくやま未来づくりビジョン2020

2021年度～

5
つ
の
挑
戦

〈中期戦略〉

【備え1】

- 抜本的な浸水対策(～2023年度)

【備え2】

- 新たな人口減少対策～強化策～(～2021年度)
 - 福山市ネウボラ事業計画(～2024年度)
 - フレイル予防の推進

【備え3】

- 福山駅周辺デザイン計画(～2029年度)
- ICT戦略(～2024年度)
- MICE戦略
 - ・ 世界バラ会議福山大会2024基本計画

〈地域力の創造〉

- 地域コミュニティの再構築
- 公共施設の再整備

〈第2期びんご圏域ビジョン〉

地域のポテンシャルを
引き出しながら
都市の未来をデザイン

第五次福山市総合計画
第2期基本計画 スタート
(2021～2025年度)



総合的な財源確保

備後圏域の玄関口「福山駅周辺」の再生の効果を広く市域へ波及させるため、地域の活力創造に向けた基盤整備を行い、持続可能で個性豊かな地域づくりを進めます。

○ 地域コミュニティの再構築

- ・ 地域コミュニティの再構築に取り組む地域の支援
- ・ 全市的な展開に向けて支援体制・仕組みの検討

○ 地域づくりに取り組む 人材の発掘・育成

- ・ 福山未来共創塾・地域づくり塾を通じて人材やチームを発掘・育成
- ・ 関係人口による地域づくりの実践とノウハウの共有

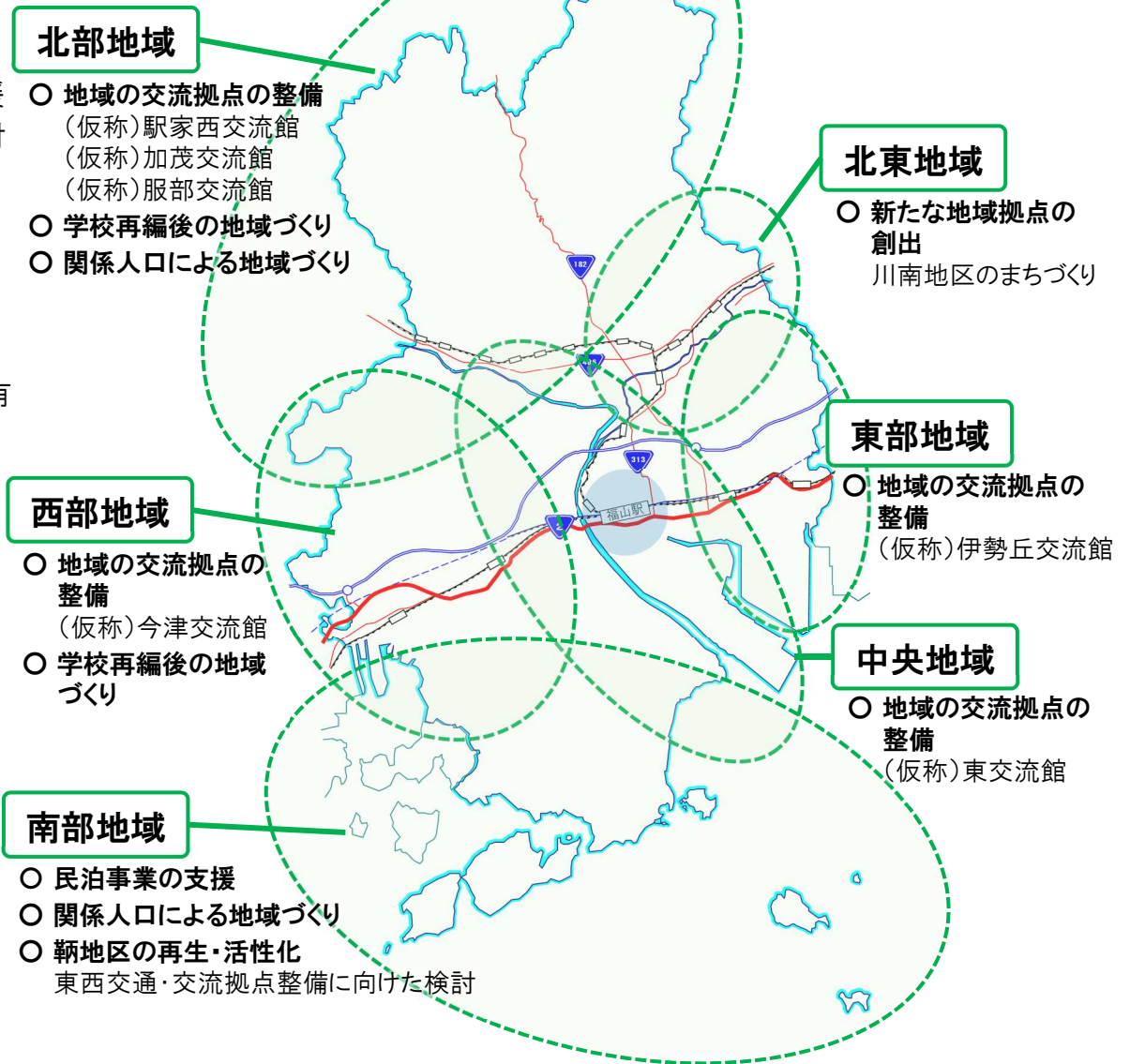
○ 学校再編後の地域活性化

- ・ 跡地活用をきっかけとした、地元主体の地域づくりの支援

○ 公共施設の再整備

効率的に再構築・機能強化していくことで、各地域における、必要な市民サービスを継続的に確保

- ・ 地域の拠点整備
交流館、町並み保存拠点(鞆)
川南地区のまちづくり
- ・ スポーツ施設の再編
庭球場、水泳場



(参考)第五次福山市総合計画 総論で掲げた地域区分

ふくやま未来づくり ビジョン2020

当初予算額：約159億円（再掲分を除く）

【一般会計 政策経費の約49%】

当初予算の中で、3つの備えとして重点化して取り組む施策を中心に、「ふくやま未来づくりビジョン」として取りまとめました。

備え

1

頻発する自然災害への備え

抜本的な浸水対策とため池の安全対策
ソフト対策を中心とした地域・行政の防災力強化

自然災害に屈しない
強靱な都市をつくれます。



備え

2

本格化する人口減少への備え

人口減少対策のターゲット(ペルソナ)の満足度向上
(新たな人口減少対策～強化策～)
福山ネウボラの進化(福山市ネウボラ事業計画)
フレイル予防の推進

人口減少社会や人生100年時代における
多様なライフスタイルの実現を応援します。



備え

3

備後の拠点都市としての備え

福山駅周辺の再生(デザイン計画)
スマートシティへのチャレンジ(ICT戦略)
MICE誘致の推進(MICE戦略) など

人や企業の新たな流れを生み出す
都市の魅力をつくれます。



3つの備え

1 頻発する自然災害への備え

～万全の備えに向け、ハード・ソフト両面での対策を本格化～

予算額:6,700,486千円

① 抜本的な浸水対策

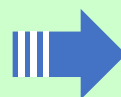
2,707,933千円

国・県と連携し、概ね5年間
(～2023年度)で着実に実施



【2020年度の主な取組】

- 国 ・ 芦田川の樹木伐採・河道内掘削の実施
(2年目/3か年) など
- 県 ・ 手城川・福川の排水機整備の「大規模特定河川事業」への採択 など
- 市 ・ 「福山市手城川流域における床上浸水被害解消プラン」の「100mm/h安心プラン」への登録 など



- ・ 芦田川の樹木伐採・河道内掘削(機能回復)(3か年緊急対策)の完了
- ・ 手城川・福川などの排水機整備の本格化
- ・ 瀬戸川・手城川の河川改修工事の加速化
- ・ 危機管理型水位計設置の継続実施
- ・ 排水機整備、雨水貯留施設整備の本格化
- ・ 手城川流域内水排除対策(雨水幹線及びポンプ場整備)の加速化

② ため池の安全対策の強化

28,850千円

○ 防災重点ため池(全1,110か所)の安全確保

【耐震化】

- ・ 川原山池(坪生町)
- ・ 茂浦池(熊野町)



【廃止】

- ・ 辻ノ池(坪生町)
- ・ 前の池(大門町)



※ 出典: 農林水産省ホームページ



③ 地域・行政の防災力強化 3,963,703千円

○ 総合防災訓練の実施

- ・ 全市一斉の福山市総合防災訓練
- ・ 新 広島県総合防災訓練・石油コンビナート等総合防災訓練

○ 人材育成と活用

- ・ 地域の防災をけん引する防災リーダーの育成と活用

○ 自主防災組織の活動支援

○ マイ・タイムラインの作成促進

- ・ 新 ひろしまマイ・タイムラインの活用

○ 避難行動要支援者の支援

- ・ 要支援者への制度周知と登録の促進
- ・ 地域の支援団体向けの手引きを作成・配布
- ・ 新 大学・企業などとの連携による避難支援の研究

○ 災害ハザードマップなどの周知・活用促進

- ・ 新 洪水ハザードマップの作成と全戸への配布
- ・ 新 土砂災害警戒区域等の指定について建物所有者へ周知
- ・ 新 防災重点ため池ハザードマップの作成・配布

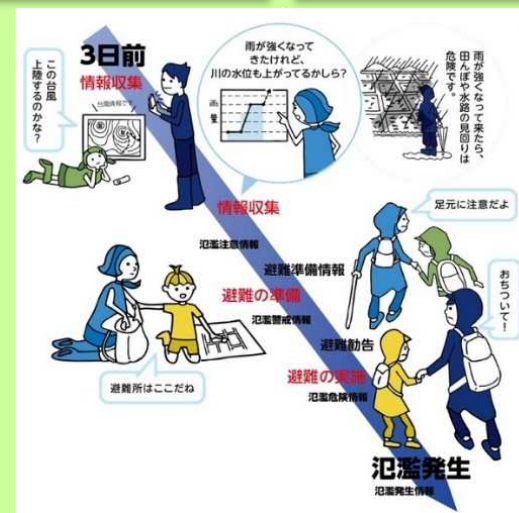
新 災害時の連携体制の強化

- ・ 平成30年7月豪雨災害の検証結果を踏まえたIP無線機の追加配備

新 本庁舎防災機能の強化

- ・ 災害時の必要機能確保に向けた本庁舎の設備改修などの設計

○ 学校施設の耐震化



※ 出典:国土交通省下館河川事務所ホームページ



2 本格化する人口減少への備え

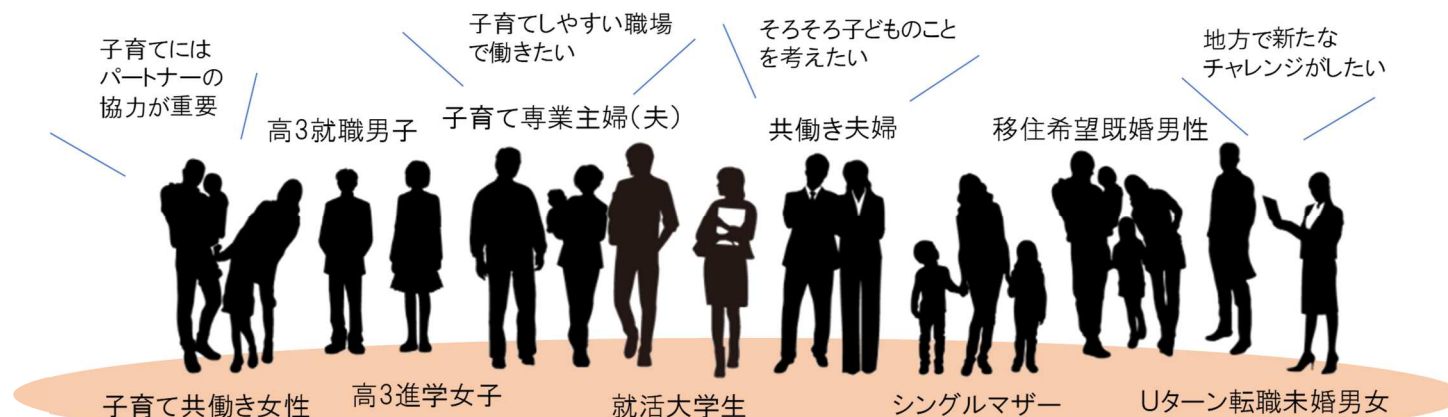
～子どもから高齢者までが、
多様で自分らしいライフスタイルを
実現できるまち～

予算額:2,244,979千円

① 人口減少対策のターゲット(ペルソナ)の満足度向上

74,111千円

新たな人口減少対策に沿って施策を展開



○ 市民の“希望のライフスタイル”を応援

みんなのライフスタイル応援会議による
企画・実行

働き方改革の推進

企業力向上プロジェクト

- ・ 働き方改革に対する経営者の意識改革支援

子育て世代が働きやすい環境づくり

- ・ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度
- ・ 子育てにやさしい企業情報の発信
- ・ 子育て女性などが働きやすい企業の合同説明会の開催

男性の育児参加促進

子育てパパ活躍ウィーク

- ・ 子育て中の従業員の休暇取得や早めの退社を促進
- ・ 企業、団体による子育てパパが活躍できるイベントの実施



地域の子ども・子育て支援の充実

企業・地域との連携促進

- ・ 地域おこし協力隊による、子育て世代を支援する企業・地域のマッチング



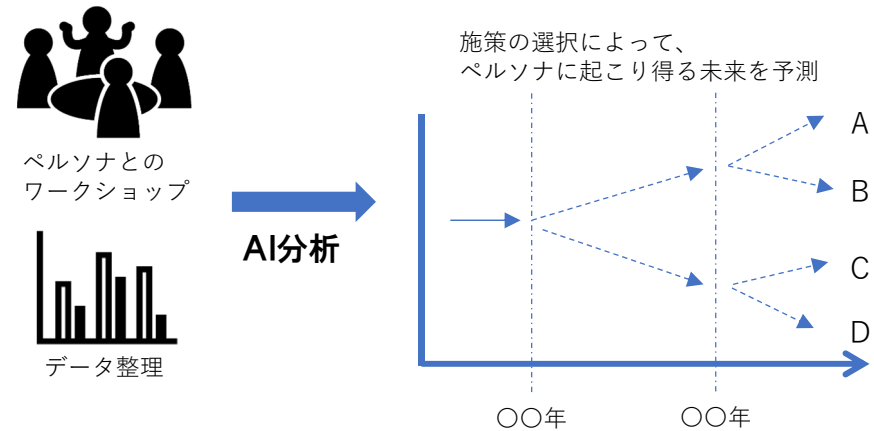
○ ビッグデータの分析・活用

民間ビッグデータの活用による移住促進

- 民間ビッグデータの分析によるターゲットの明確化
- ターゲットに応じたWeb広告の配信

新 全国初 AIによる人口減少対策の再構築 スーパーグローバル大学などとの共同研究

- 大学や民間企業と連携し、施策構築のプロセスにAI技術を導入
- AIによって、起こり得る未来を分析し、人口減少対策を再構築



○ 新たな働き方×地域課題の解決

ワーケーションふくやまの推進

- 首都圏のクリエイティブ人材などに、福山で働き・暮らし・交流する体験の場を提供
- 企業・地域との交流を通じて、企業や地域が抱える課題の解決を促進



※ 本市がめざすワーケーション

「work(仕事)+vacation(休暇)」と合わせて、企業や地域との交流による「communication(対話)」を促進し、「innovation(刷新)」を創出

② 福山ネウボラの進化 1,964,030千円

全ての子どもと家庭に 寄り添うネウボラ



妊娠
出産

病気

発達

子育て
情報

保育

経済

再就職

教育

あのね

ネウボラ相談窓口「あのね」を核に 妊娠～再就職を支援 市内13か所

(あのね ぬまくまを追加 2020.1)

妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する 体制強化

ネウボラ推進部を新設し、母子保健と子育て支援を一体的に
実施できる組織体制に

妊娠後期の子育て家庭に
積極的にアプローチ

家庭の課題を素早く察知し、適切な
支援につなげる機能を強化

【相談実施率】

約40%

100%へ

高まる保育ニーズへの対応

保育所の整備(宜山保育所の改築施工、西多治米保育所の改築設計)

保育人材の確保(保育補助者の雇上強化、資格の取得支援 など)

病児・病後児保育施設の拡充(5か所 ⇒ 6か所)

放課後児童クラブの拡充(小学校全学年が対象に)

支援が必要な家庭へのサポートを更に充実

① 支援が必要な家庭へのヘルパー派遣

② 障がい児療育支援(通園施設の無償化)

ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業の拡充(定員:50人 ⇒ 140人)

中学生までの医療費助成

親子で楽しめるまちづくり

① 子育て雑誌と連携した情報発信(公園やイベント情報)

家族で憩い・楽しめる公園

【総合体育館公園】

- ・大型遊具38アイテム、健康遊具13基
- ・長さ約28mのローラーライダー
- ・柔らかい素材を使った乳幼児エリア



③ フレイル予防の推進 206,838千円

これまで・・・

これからも
元気で過ごしたいけど、
何に取り組んだらいいん
だろう・・・



このままだとフレイルに
・・・

フレイルチェック

新たに養成したフレイルサポーターを中心に、
市内各所でフレイルチェック会を開催

栄養バランス
の低下

筋力の低下

むせる
かめない

閉じこもり

認知機能の
低下

自分の健康状態を
見える化

自分に最も適した
取組が明確に

運動など

自身の健康状態に最も適した
取組に継続して参加

- シニア食生活改善教室
- いきいき百歳体操
- 運動教室
- 健康教室
- 居場所・サロン
- 認知症予防教室
- など



活躍

自分らしく、
地域や社会で活躍



半年に1回 再チェック(参加者のモチベーション向上)

○ (仮称)スマート・フレイルチェックの試行実施

- ・一部の会場でタブレットやアプリを活用して、
手軽に楽しく見える化

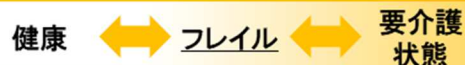
○ データ分析

- ・予防内容とチェック結果を比較分析
- ・より効果の高い予防の取組の充実

これらによって常に取組を改善

? フレイルとは・・・

加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態の
危険性が高まっている一方で、早期の適切な介入・
支援により生活機能の維持向上が可能な状態



普及啓発 人材育成

フレイル予防啓発講演会・出前講座
フレイルサポーター・トレーナーの養成

① 福山駅周辺の再生 272,931千円

居心地がよく、歩きたくなるまちづくりをめざす

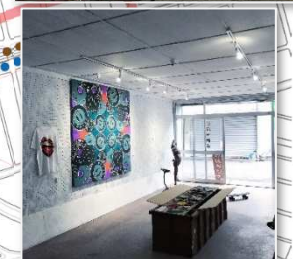
ウォーカブルエリアの実現

エリア拠点の設定

- 三之丸町地区の再生
- エフピコRiMの再生
 - ・再生に向けた詳細検討と準備に着手
- 中央公園Park-PFIによる施設整備
- 福山城のリニューアル
 - ・福山城の耐震改修と合わせて往時の外観を復元
 - ・ライトアップの整備 など
- 北口広場の整備
 - ・JR西日本と連携した北口広場の整備に向けて設計・解体に着手
- リノベーションまちづくり
 - ・遊休不動産を活用した魅力とにぎわいの創出

拠点をつなぐ取組

- エリアマネジメントの促進
 - ・民間事業者などによる、まちなか公園などを活用したにぎわい創出を支援
 - ・民間事業者などによるエリアマネジメントにつなげる



... ウォーカブルエリア

※ 背景地図は国土地理院図を基に作成
※ 福山駅北口の建物の外観は、今後の設計により変更の可能性あり

② スマートシティへのチャレンジ

133,196千円

先端技術によるまちづくり官民協議会

- ・ 企業や大学が参加するプラットフォーム
- ・ これまで実施してきた実証実験などを踏まえ、ICT戦略を策定・推進

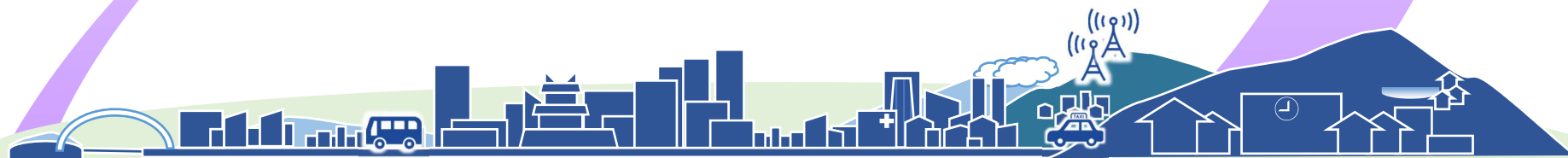


広島県

- ・ デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進・支援

2020年度“先端技術による都市づくり元年”

「実証」から「社会実装」へ



地域課題の解決

- ⑨ 情報伝達力や施設利便性の向上
- 行政の効率化
 - ・ ⑨ チャットボットによる行政サービスの利便性向上
 - ・ RPAを活用した業務効率化

第4次産業革命への対応

- 中小企業のICTなどの導入サポート
- ICT人材の育成



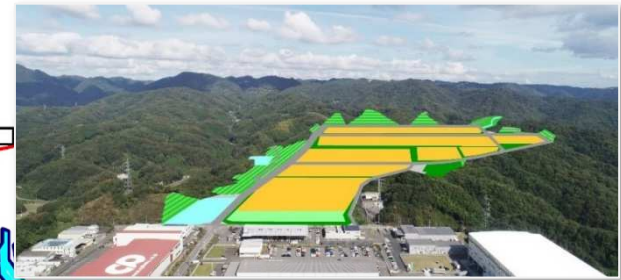
都市魅力の向上

- ⑨ 先端技術を体験できる場の創出
- 実証実験まるごとサポート
 - ・ 実験にチャレンジしたい企業を募集
 - ・ 場所の提供、情報発信、規制の緩和などを支援
- モビリティ先進都市へのチャレンジ
 - ・ 自動走行の実証実験
 - ・ ⑨ 医療MaaSの推進



③ 強靱な地域経済の確立 2,300,237千円

地域経済を支える基盤整備



○ 福山北産業団地
第2期事業の推進

○ 福山道路整備及び関連事業の実施



○ 福山港の整備促進



地域経済の核となる地元企業の支援

○ ものづくり人材の育成・確保

- 先端技術を活用する人材の育成 (ものづくり大学)
- インターンシップの導入支援
- 官民協働の留学支援



○ 広域での経済連携

- 新 繊維産地間の連携推進 (他産地との共同商談会)
- 福山未来エナジー(株)による再生可能エネルギーの地産地消

○ 中小企業の経営支援

- Fuku-Bizによる売上向上、創業に向けた相談支援
- 企業間の連携促進、販路開拓の支援

④ MICE誘致の推進 21,631千円

④ MICEの戦略的な誘致

- ・情報発信の強化(業界雑誌への記事掲載)
- ・MICE誘致ディレクターのネットワークを活用した首都圏でのセールス

➡ 地域経済の活性化につながる福山MICE

- ✓ 国内外・業界内外の交流による新しい価値の創造
- ✓ 新しい価値の発信による多様な人材の確保
- ✓ 産業都市としてのブランディング

○ 第20回世界バラ会議福山大会に向けた取組(2024年度開催)

- ・市民参加による大会実施計画の策定
- ・大会開催に向けたPR活動(Webサイト・動画作成など)
- ・レガシープロジェクト(新たなばらの魅力創出など)



? MICEとは・・・

Meeting(ミーティング)・Incentive(報奨旅行)・Convention(会議)・Exhibition/Event(展示会/イベント)といったビジネスイベントの総称



⑤ 外国人から選ばれる環境づくり 44,068千円

○ インバウンドの促進

- ・米、仏、豪を中心としたターゲット国への情報発信
⇒ 関西・広島エリアの旅ナカ(国内滞在中)の旅行者への情報発信に注力

○ 多文化共生の推進

- ・④ 行政サービスの多言語化(自動翻訳アプリの導入)
- ・日本語教室などの生活支援
- ・④ 第61回外国人による日本語弁論大会の開催



⑥ 歴史・文化の振興 979,700千円

○ ばらのまち福山国際音楽祭2020

【開催期間】2020年5月7日～10日(4日間)

【会場】リーデンローズ、神辺文化会館 ほか

みんなで創る

- ・ 市民音楽団によるコンサート

次世代育成

- ・ 未来へつなぐ子どもたちへのコンサート
- ・ ママあのおねコンサート

国際交流・過去と未来の懸け橋

- ・ 海外のプロオーケストラによるコンサート



○ 福山城築城400年に向けた取組

- ・ 福山城天守などの耐震改修、往時の外観復元、博物館展示リニューアル
- ・ 福山城本丸・二之丸の土塀改修
- ・ クラウドファンディングの実施
- ・ 若年層への情報発信強化(歴史シミュレーションゲームとの連携など)
- ・ ナイトタイムエコノミーへの活用(ライトアップ整備など)



⑦ スポーツを核とした地域活性化

404,033千円

○ オリンピック・パラリンピック関連イベント・事業の実施

- 聖火リレーとセレブレーションの開催(5/19)
- メキシコ・パラグアイ選手団の直前合宿の受入れ(6月下旬～7月下旬)
- JOCと連携したスポーツ教室
- ⑧ 合宿受入予定競技に関連するスポーツイベントの開催

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
競技大会



⑧ エフピコアリーナふくやま(総合体育館・総合体育館公園)と芦田川かわまち広場(親水広場)の一体的利活用

- 年間を通じて、スポーツ大会を中心としたイベントを誘致・開催



3/20
OPEN



最大5,000人収容のメインアリーナ、300人収容のサブアリーナ、武道場に加え、

- トレーニング室
- スタジオ
- クライミングウォール

- 県内最大規模のスケートボードパーク
- 芝生広場
- バーベキューテラス

のほか、土の広場、石畳広場、遊歩道、親水護岸



○ ふくやまスポーツアカデミーの開催

- 民間事業者や元選手などにスポーツビジネスにおける知識やノウハウを提供
- スポーツを楽しめる場所や機会の創出

⑧ 次代を担う人材育成（福山100NEN教育の推進） 1,792,186千円

多様な学びの場の提供

⑧ イエナプラン教育試行実施

⇒ 2022年度 常石に開校

- ・新1～3年生で先行的に異年齢集団での教育活動を開始

公立校
全国初

⑧ 特認校設置準備

⇒ 2022年度 広瀬に開校

- ・教育上の配慮が必要な子どもが、自分に応じた学習ができる特認校設置に向けた増築設計

? イエナプラン教育とは・・・

- ・3学年にわたる異年齢グループ編成
- ・「対話」、「自立学習」、「協働学習」、「催し」という特徴的な活動と学びを循環
- ・居心地の良い生活空間としての環境整備



⑧ 授業における民間プールなどの活用

- ・民間や公共のプールを活用した水泳授業を6校で試行実施

○ 「学びを拓く学校図書館」充実プラン

- ・興味・関心が膨らむ図書の充実とリラックスできる環境づくり



⑧ 福山市図書館に電子図書貸出サービスを試行導入

- ・市立図書館への来館が難しい方や外国人向けのサービスを充実

子ども主体の学びづくり

⑧ 福山ティーチャーズ・アカデミー

- ・「子ども主体の学び」の実現に向け、教員がテーマを設定して実践研究

○ 学力の伸びを把握する調査

- ・個の学力や自己効力感などの伸びを把握し、個に応じた学びを推進

○ ESDの推進

- ・各学校における、SDGsから設定した目標の達成に向けた教育の推進
- ・ESDの推進拠点であるユネスコスクールへの加盟
2019年度末時点 加盟:14校 申請中:66校/全111校



○ 学びづくりフロンティア校

- ・教科横断、異年齢で学ぶ教育課程の研究・実践

○ 探究学習プログラム

- ・協働的に社会課題を解決するプログラムの導入

※ ESD : 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

※ SDGs: 持続可能な社会を実現するための17の国際目標

総合的な財源確保

総合的な財源確保

中期的視点に立った都市づくりを支えるため、次の3つの視点を中心に歳入・歳出の両面で財源を確保し、持続可能で柔軟な財政に向けて取り組みます。

① 行政事務のスマート化

先端技術を積極的に導入し、事務を効率的にすることで、市民サービスをより便利なものとします。

- ・ 事務処理へのAIやRPAなどの活用
- ・ 国や県と連携したシステムの共通化に向けた検討
- ・ キャッシュレス収納(クレジット収納・ペイジー収納)の導入 など

② 既存財産を活用した収入の拡大

今ある資産を有効活用し、新たな収入を産み出します。

- ・ 公共施設へのネーミングライツ導入の拡大
- ・ 未利用スペースを活用した広告収入の拡大
- ・ 庁舎敷地などのスペースの有効活用
- ・ サウンディング(対話型市場調査)の活用による資産の売却・貸出 など

③ 民間活力を用いた公共サービスの再構築

民間活力の活用を前提とする、官民連携による公共施設サービスの再構築を進めます。

- ・ 授業における民間プールの活用
- ・ 中央公園におけるPark-PFI など

2020年度財源確保額 **19億円**  2024年度までの目標 総額**87億円**

連携中枢都市圏構想

連携中枢都市圏構想 ～6市2町連携の取組～

予算額:1,436,954千円

(うち、未来づくりビジョン分事業費:558,205千円)

経済や医療などの分野で連携を強化し、中核都市としての責任と役割を果たすことで、備後圏域の一体的な発展につなげていきます。

第2期びんご圏域ビジョン スタート ～いつまでも住み続けたい 備後圏域の実現～ (2020～2024年度)



ー 重点プロジェクト2020 ー

経済

経済成長の
けん引

びんごイノベーションエコシステム形成支援 プロジェクト

- 圏域に必要な地域商社機能の調査研究
- 産業支援拠点の充実 (Fuku-Bizによる創業支援 など)
- 先端技術活用人材の育成・確保 (プログラミング体験 など)

広域観光・交流プロジェクト

- インバウンド観光の推進
(在留外国人による情報発信 など)
- スポーツイベントなどへのアスリートや指導者の派遣



都市機能

高次都市機能
の集積・強化

医療連携強化プロジェクト

- 医療人材確保に向けた研究
(医師のセカンドキャリアの研究 など)
- 医療現場における女性の活躍推進
(大学医学部などと連携したセミナーの開催 など)

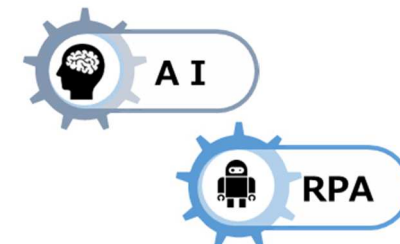


住民サービス

生活関連機能
サービスの向上

行政サービス効率化プロジェクト

- AI・RPAの導入支援
(先行する市町のノウハウを他市町に提供 など)
- 内部事務系システムの共通化の研究



参考

(1) 5つの挑戦を支える主な施策

※これまでに掲載した施策を含む

挑戦1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

予算額: 418,661千円

- エピコRiMの再生
- リノベーションまちづくりを担う人材の育成・確保
- 中央公園Park-PFIによる施設整備
- 世界バラ会議に向けた取組
- ワーケーションふくやまの推進
- ビッグデータを活用した移住・定住の促進
- 関係人口による地域づくり
- ⑧ まるごと撮影都市構想事業
・ロケ提案力の向上、ロケ支援体制の強化 など
- 外国人観光客への魅力発信事業



挑戦2 希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

予算額: 2,328,481千円

- 福山ネウボラの推進
- 子育てパパの育児参加促進
- 子どもの医療費助成
- 保育人材確保の強化による保育の質的向上
- ⑧ 通園施設利用者負担軽減事業
- ひとり親家庭の子どもたちの生活・学習支援事業の拡充
- ⑧ フレイル予防の推進
- 認知症の人を地域で支える取組の充実
- ⑧ 働き方改革の推進に向けた経営者の意識改革
- 地元企業と若者の交流促進事業
- キャリアデザイン×ライフデザインの支援
- 子育てにやさしい企業の発信
- 障がい者が働きやすい職場環境の充実



挑戦3 まちの成長をけん引する産業づくり・防災

予算額: 9,164,294千円

- デニム産地としてのPR
- Fuku-Bizによる売上向上・創業に向けた支援
- ものづくり福の耳プロジェクト
・企業訪問を通じた課題の把握・解決
- 再生可能エネルギーの地産地消
- プロフェッショナル人材の活用
・戦略推進マネージャーの活用
・⑧ MICE誘致ディレクターと連携したMICE誘致の推進
- 福山道路関連整備事業
- 国・県と連携した抜本的な浸水対策
- ため池の安全対策
- 福山北産業団地第2期事業
- 農産物・水産物のブランド化
- 防災情報の伝達力の強化
- 学校施設の耐震化事業



挑戦4 夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

予算額:1,936,526千円

- 芸術・文化体験の充実
 - ・美術館やばらのまち福山国際音楽祭への招待
- 「学びを拓く学校図書館」充実プラン
 - ・知的好奇心や探究心を喚起する図書の充実 など
- ICT教育機器の整備
- 中学校給食完全実施に向けた整備
 - ・2020年9月から完全実施
- 学校規模・学校配置の適正化
 - ・(仮称)千年小中一貫教育校敷地造成 など
- 福山市立大学キャンパスの拡充整備
- 福山市立大学の公立大学法人化準備
- 官民協働による留学支援
- 夢・未来プロジェクト
 - ・中学生の夢へのチャレンジを支援
- 未来づくり活動への支援
 - ・福山未来共創塾の開催と創出プロジェクトの支援
- 持続可能な地域コミュニティの形成支援
 - ・地域コミュニティ再構築に取り組む地域の支援
 - ・地域をサポートする体制の整備
- 学校再編後の地域づくり
 - ・学校跡地の利活用を始めとした地域活性化



挑戦5 文化・スポーツの振興

予算額:2,011,586千円

- 福山城天守などの耐震改修、展示リニューアル
- 福山城築城400年に向けた取組
- 福山駅北口広場の整備
- ㊦ 福山城内堀遺構の保存活用
- 廉塾保存整備事業
- 神辺本陣保存整備事業
- ばらのまち福山国際音楽祭
- ㊦ 鞆町平地区バイパスアクセス道路整備
- ㊦ (仮称)鞆地区東西交通・交流拠点の整備事業計画策定
- 日本遺産を活用した鞆の浦の魅力発信
- 鞆地区の町並み、歴史、文化の保存・活用
- スポーツ施設の再編
- 民間事業者によるスポーツ事業の創出支援



(2) 総合的な財源確保

2024年度までの累積効果額 8,739,770千円

歳入

【2020～2024年度:3,363,392千円】

① 市税などの収入【413,203千円】

- キャッシュレス納付の推進
- 特別徴収の強化
- 滞納貸付金の徴収強化

② 広告収入の拡大【256,628千円】

- ネーミングライツの拡大
 - ・ 総合体育館などの社会体育施設
 - ・ かわまち広場 など
- 広告掲載の拡大
 - ・ 広告付き窓口番号案内表示システム
 - ・ HPへのバナー広告
 - ・ 封筒・公用車への掲載



③ 寄附の拡大【1,358,300千円】

- ふるさと納税・企業版ふるさと納税の更なる活用
- クラウドファンディング
 - ・ 築城400年事業支援寄附
- その他個別施策への「共感」の獲得
 - ・ 学校図書館整備への支援寄附
 - ・ ふくやまグローバル人材育成事業への支援寄附



④ 資産の処分【1,149,701千円】

- 保育所跡地の売却
- 御船駐車場の売却 など



⑤ その他の歳入確保【185,560千円】

- 庁舎敷地などの余裕部分の活用
 - ・ 自動販売機の入札による設置
- 助成金の積極的な活用
 - ・ スポーツ振興くじ助成金の活用(社会体育施設)

歳出

【2020～2024年度:5,376,378千円】

① スマート化も含めた事務事業の見直し【1,099,950千円】

- RPA導入による業務効率化
 - 2年間で14業務に導入
 - 2020年度 4業務 ▶ 2021年度 14業務
- AIの活用
 - ・ 人工知能による議事録作成
 - ・ チャットボットによる問合せ対応
- 業務システムの再構築
 - ・ 人事・給与庶務事務システム
- ペーパーレス化の徹底
- その他の見直し・統合・廃止 90事業

② 公共施設サービスなどの再構築【4,134,577千円】

- 施設の統廃合・利活用 など
 - ・ 交流館の整備に伴う集約化
公民館、コミュニティセンター、ふれあいプラザなどを集約
 - ・ 学校の水泳授業における公共・民間プールの活用
- 民間活力の活用
 - ・ 保育所の民間移管
 - ・ 中央公園のPark-PFI
 - ・ 本庁舎の施設運転監視



③ 公債費対策【141,851千円】

- 繰上償還
 - ・ 市債を満期前に償還し、支払う利息を軽減

ふくやま未来づくりビジョン2020



「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標「SDGs」、そして、それを福山で具現化させる、未来を市民の皆様とオール福山で描いた「福山の未来図」の実現に向けて、積極果敢にチャレンジします。